

小牧市では、東部振興構想を策定し、その一環として地域の担い手を育てる「人と人がつながるプロジェクト」に取り組んでおり、今年で5年目を迎えます。

東部地域の未来に向けて、「今から!これから!」行動を起こすことを大切にしながら、全3回のトーク&ワークショップを実施しています。

本通信では、3月に開催した第1回ワークショップの様子をお届けします。



第1回 ワorkshopテーマ  
コミュニティの知恵袋  
—課題と展望—

ワークショップ  
スケジュール



第1回

テーマ：コミュニティーの知恵袋  
日時：3月22日(日) 10:00-12:15  
会場：東部市民センター  
ワークショップ：課題と展望

第2回

テーマ：行動こそ地域を変える力  
日時：4月19日(日) 10:00-12:15  
会場：東部市民センター  
ワークショップ：あったらいいな



第3回

テーマ：私からはじめるまち育て  
日時：5月17日(日) 10:00-12:15  
会場：東部市民センター  
ワークショップ：やってみよう

概要

当日は、市民や地域サポーター、行政職員など約30名が参加しました。「コミュニティの知恵袋」と題し、2名の講師によるトークの後、参加者は3つのグループに分かれ、東部地域の課題や魅力、講師の話から得たヒントについて意見を交わしました。各グループでの話し合いの成果は最後に全体で共有され、多様な視点から地域の可能性や今後の展望について考える機会となりました。

ワークショップの運営体制について

本ワークショップは、市民の皆さん、小牧市、サポーターが協働して進めます。全体の進行は、「NPO法人 まちの縁側育み隊」と「NPO法人10人村」が担当しています。また、これまで「東部トライアル活動」に取り組んできたメンバーが、先輩としての経験を生かし、各グループの話し合いをサポートするファシリテーター役を担っています。



# 当日の流れ

## 1 あいさつと「東部振興構想」について



**室長さん**  
(小牧市都市政策部 東部まちづくり推進室)

## 2 「旗揚げアンケート」を実施しました。



参加者は地域活動の経験のある人が多い!

## 3 講師から話題提供がありました



**豊田さん**



**高木さん**



## 4 グループワーク

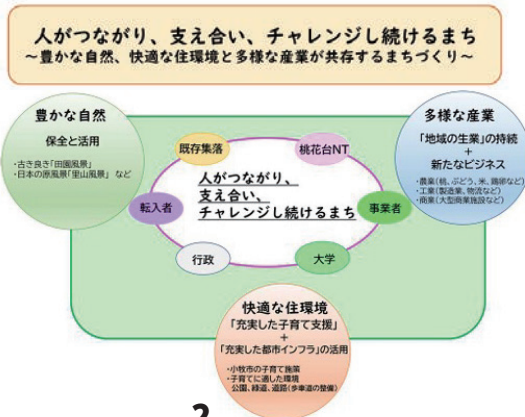
東部地域課題や魅力、講師のお話からのヒントなどを共有しました!



## 5 各グループの話し合い内容を発表し、全体で共有しました。

## 東部地域の将来像

冒頭では、東部振興構想と本事業のつながりについて、東部まちづくり推進室より紹介がありました。



## 東部振興構想

小牧市ホームページ



## コミュニティの知恵袋

1

住民が楽しくつながる「押沢台地区**ブラブラ**まつり」  
豊田洋一さん（中部大学名誉教授）

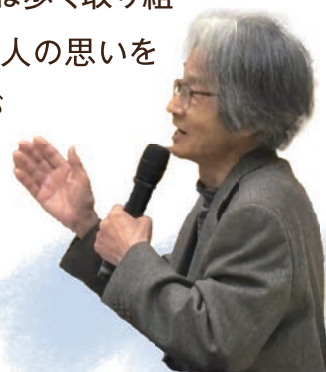


高齢化が進むニュータウン「押沢台」において、地域のつながりを生み出す取り組みとして実施されている「ブラブラまつり」についてご紹介いただきました。

住民一人ひとりの趣味や特技を活かし、自宅を会場として“お店”を開き、参加者が訪ね歩く取り組みです。カフェや作品展示など、個人の思いを

形にできる点や、ガレージや庭、茶の間といった私的空間を活用する点が特徴で、多くの住民参加を生み出し、地域内の交流や新たな関係づくりにつながっています。

豊田さんからは、「特別な資源がなくても、人がいればできる」というメッセージが共有されました。



2

地域と企業の「**おかしな**仲間」が耕す地域の未来  
高木宏幸さん（春日井製菓販売（株）「おかしな実験室」）



高木さんからは、個人の立場と企業の立場、それぞれから取り組まれている活動についてご紹介いただきました。いずれも、人と人をつなぎ、継続的な関係の中から地域の価値を生み出す実践です。高木さんは、コミュニティを「共通点をきっかけに関

係が続く場」と定義し、その継続には「無理をしないこと」と「続けること」が重要であると述べられました。農業・学び・料理・対話など多様な活動を通じて、参加者同士の関係性が育まれ、コミュニティとして成熟していくプロセスが示されました。



# 東部の魅力と課題、今後への展望

グループワークでは、東部地域の魅力や課題、今後の展望について、参加者同士で意見を分かち合いました。今後に関しては、講師のお話をヒントに意見交換を行いました。参加者は3つのグループに分かれ、それぞれの意見を模造紙にまとめ、発表しました。本資料では、全体像を把握できるように、各グループの意見を統合・整理して掲載しています。

## 東部の魅力

### 暮らしやすい環境

- ・ 美味しいご飯屋さん多い印象
- ・ 都市機能の充実
- ・ 「人と環境のバランス」が整っている地域
- ・ 田舎過ぎず都会過ぎない
- ・ 暮らしやすさ
- ・ 桃花台ニュータウン
- ・ 地震に強い岩盤



### 資源

#### 資源豊か

- ・ 公園や緑道
- ・ お散歩するにはよい緑道
- ・ 緑道がうらやましい
- ・ 緑豊か
- ・ 程よい自然環境



#### ピーチライナー跡の活用

- ・ ピーチライナーの駅が地下に残っている。
- ・ 中央公園への地下道 探検路に？



### 人の魅力



#### 多国籍、多世代、関係人口

- ・ いろいろな国の人がいる
- ・ それでもほかの地域に比べて子どもが多い
- ・ 多世代・多文化が交わる場に

#### 子ども・学校

- ・ 学校は大きな資源
- ・ 通学路が安全で学校が近い
- ・ 子どもという共通項



#### 道路

- ・ 道が走りやすい
- ・ 名古屋まで近い



# 東部の課題



## 人について

### 少子高齢化

- ・ 高齢化著しい
- ・ 超高齢化 (子どもの声がない) おひとりさまがいっぱい
- ・ 人が減っている高齢化
- ・ 人口減少
- ・ 若い人が少ない



### つながりの希薄化

- ・ 地域内 東部地域一体で集まる機会がない
- ・ つながりたくない人も多い
- ・ 隣の人の得意が分からない

### その他

- ・ 押沢台は桃花台の見本になれば
- ・ 住民の話しをもっと聞いて欲しい

## 東部ならではの課題

### ニュータウンの衰退

- ・ 東部に偏った課題…
- ・ ピアーレお店が減った
- ・ 県住がきれいになるといいな
- ・ 人口・人の流れ

### 学校の再編

- ・ 学校の再編



## 交通について

### ピーチライナーのあと

- ・ ピーチライナーの解体は心苦しい
- ・ ピーチライナーの記憶

### アクセスについて

- ・ 交通の便が悪い
- ・ 移動手段がない
- ・ 住宅街なので駐車場がない



## 地域運営の仕組み

### 横断的な窓口機能

- ・ まとめ役 窓口になる組織
- ・ 地域貢献企業との接点増加
- ・ 企業にイベントの宣伝に行った (こういったつながりを増やすには?)

### 若い人や関係人口の受け皿

- ・ 若い人が入ってこれる仕組み求む!
- ・ 誰でも関われる場づくり



## 魅力がみえにくい

### 情報発信

- ・ 地域外の人にとって、どこに何があるかわからない
- ・ 高蔵寺ニュータウンには、るるぶ特集があり魅力的に見える どこに何があるかわからない
- ・ 知名度を上げたい

### 地域内の情報共有

- ・ 情報発信の課題
- ・ 区長会に情報が入らない
- ・ 地域内 区長会まで伝わってこない、(トライアル活動内容など)



## その他

### 既存活動の人材不足

- ・ オレンジカフェ開催中 (東部市民センターにて、月に2回 13-15 参加費 100円) →25~30名参加、スタッフは20名程 →送迎ドライバー求む!

### その他

- ・ 桃花台まつりについて、始まりはフリーマーケットから今は大型化しセミプロが多く変わってきた。40回目だけど見直す時期

# 今後に向けて

## 東部への提案や 話題提供からのヒント



### 継続の大切さ

#### 無理をしない

- ・無理しない & 継続 なるほど
- ・続けていくことの大切さ
- ・無理をしない
- ・継続が大切



#### 楽しさやモチベーションの維持

- ・皆で考えて発想を形にしてすごい
- ・楽しむこと無理しないことの大切さ
- ・まつりが大切だった



#### 人のちからを生かす

- ・発掘
- ・それぞれのスキルを生かす
- ・まちの人の力を生かす
- ・つながりたい気持ちがある人が多い
- ・仕事もプライベートも仲間作りが大事
- ・人が住んでいることが地域の資源
- ・人の歴史がまちをつくる
- ・コミュニティは人との関係を築く
- ・地域の資源→人の資源
- ・住民活動は誰でもできるやさしさが必要
- ・魅力ある人材はすでにいる
- ・ただ“見えていない”だけ
- ・活かさきれていない”だけ
- ・外国人とのつながりをつくる

#### 関係人口を増やす

- ・関係人口も含めた“人の魅力”を見つけて活かすことが、東部の未来をつくる。そしてそれは、無理をしなくてもできる。
- ・地域外の人も関われる仕組み

#### 人がいればできる！

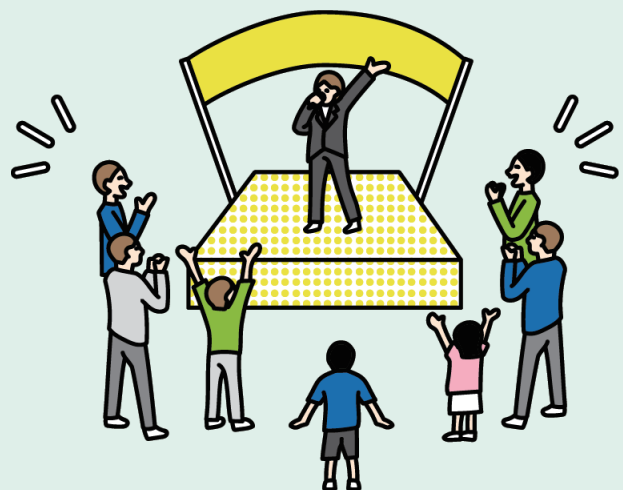
- ・どこでもできる
- ・どこの住宅地でもできそう

#### 既存資源の再解釈

- ・捉え方で地域の価値は変わる
- ・学校再編はチャンス
- ・空いた場所＝新しい可能性
- ・駐車場で開くために小学校の校庭が協力してくれる
- ・住宅のガレージを活用するために小学校が校庭を駐車場に貸す逆転の発想がすごい

#### 企業による地域貢献

- ・企業理念に対して何をするのかという考え



# 「発表の様子」



## A グループ

課題・魅力いっぱいあるけど  
ととのえよう！



## B グループ

まちづくりは、  
いつでもだれでも  
できるんだぜ！！  
～どんな課題も  
かかってこ～い！



## C グループ

関係人口ふくむ魅力ある人材の  
発掘～捉え次第で大きく変わる。  
無理しない！

子連れ参加大歓迎！！



# まとめ

ファシリテーターの名畑さんから、  
本日出た大事な意見について振り返りがありました。

た

## 楽しさが人をつなぐ

—愛することから！地域を知ることから！

し

## しんどい課題を分析しよう

—情報発信（地域内外）、ピーチライナーの記憶、  
高齢化、移動困難、学校再編など・・・

か

## 環境や都市機能の集積など、資源は沢山

—オレンジカフェや、トライアルなど既に起きている活動も宝！

な

## 何でも宝にしよう、ポジティブモードで！

—「どんな課題もかかってこい！」、「再編はチャンス！」

つ

## つながりは一人一人を大切にすることや、「やさしさ」、「かんたんさ」が大事

—無理をしない！

—はじまりのきっかけをどうつくる？あつい文章や元々のつながりを生かす視点で

な

## 何時でもどこでも誰でもできる。

—講師のお話のように、まずは踏み出そう！

が

## 我を活かそう！

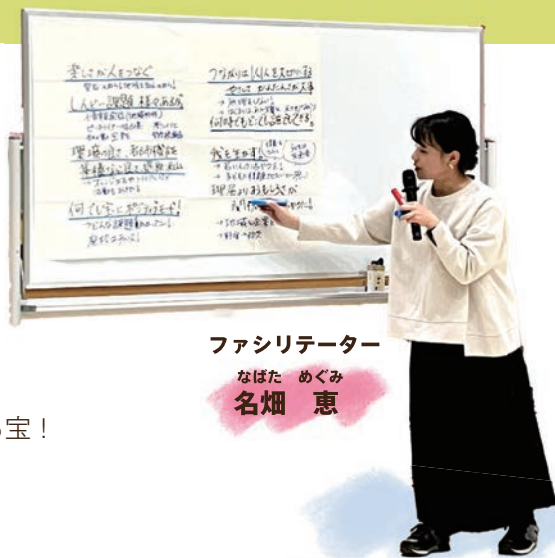
—得意なことを地域に開いたり、子どもを共通項にするのがポイントに！

り

## 理屈よりおもしろさが大事！関係人口や若手の活ヤクの間もつくりよう！

—地域と企業をつなぐ

それぞれの頭文字を束ねることで、豊田先生のお話のキーワードである「確かなつながり」が見えてきました。



# アンケート

- ・ある人の想いを大事にすることは一人一人が大切にされている気分・雰囲気を生み、まちの温かさにつながると思った。
- ・まちづくりに必要な資源はスキルを持った人だけでなく、住民一人一人であると感じた
- ・地域の特徴よりも人の気持ちでコミュニティはつくれる。
- ・無理せず長く継続することを大事にしたいと思いました。
- ・内容は良かったが、時間が短い。日曜の午前の忙しい時間帯。
- ・学校再編したら、空き教室で楽しいことしたい。
- ・春日井製菓のおかしがもらえてほっこりした。
- ・若い世代の方々からの話がとても参考になりました。



東部地域トライアル活動ワークショップふりかえり通信 vol.1  
発行：小牧市東部まちづくり推進室（0568-39-5229）  
発行日：2026年4月22日  
編集：NPO 法人まちの縁側育くみ隊、NPO 法人10人村